

別紙 2-A 科目内容

分類	科目名 (副題)	基本 研修 日数	ICT(A)	ICT(B)	ICT(C)	科目内容、位置づけ	
			ICT実践力強化のための コア技術人材育成(A) (ITアーキテクト)	ICT実践力強化のための コア技術人材育成(B) (CIO補佐)	ICT実践力強化のための 情報セキュリティ (情報セキュリティ)		
基礎知識 (単元目標 1・2)	共通	e-Government概論	2	●	●	●	E-Governmentについての基礎理論を学ぶ。
		Enterprise Architecture概論	2	●	●	●	組織全体での業務とシステムの最適化のための仕組みやプロセスを学ぶ。
		情報セキュリティの基礎	2	●	●	●	情報セキュリティについての基礎理論を学ぶ。
	先進技術	公共サービス向け地理情報システムの基礎	2	●	●		地図のデジタル化が進み、GIS技術は途上国でも浸透し始めている。途上国によるGIS利用促進のため、OSSベースでの事例を紹介する。ドローンの利用などの先端技術も紹介する。
		クラウド技術・ビッグデータ・IoTとICTによる課題別ソリューション紹介(農業、防災、教育、医療、エネルギー等)	3	●	●	●	途上国における今後のクラウドサービス利用拡大を見込み設置された科目であり、継続。なお2013年から「政府共通プラットフォーム」の稼働開始など、日本におけるクラウド技術の政策重要度が増したことを鑑み、授業数を追加。その他にこの科目ではICTの最新トピックを紹介する。
	ヒューマンスキル	問題解決とファシリテーション	3	●	●	●	サービス利用者との接点が多い上流工程のSEになればなるほど、技術スキルに加え、ヒューマンスキルが重視される。特にコミュニケーションスキル・マネジメントスキルは、ソリューションを提案し、実行し、運営していく上で必要なスキルである。
		ロジカル・シンキング	2	●	●	●	
		リーダーシップ育成(ネゴシエーション編)	2	●	●	●	
		プレゼンテーション能力	3	●	●	●	
	戦略・企画	業務要件分析・企画 ヒヤリング編	2	●	●		業務要件定義の必要性および要件定義手法を学ぶ。
		業務要件分析・企画 要件定義編	4	●	●		ICTを導入・活用するにあたり目的と戦略を適切に設定し、その効果やリスクを測定・評価して理想とするICT活用を実現するメカニズムを確立するための手法を学ぶ。
		企画提案書作成	3	●	●	●	EAの企画に必要なコンサルティング手法を学ぶ。
		BCMの基礎	1		●		ICTソリューションの継続的な利用を保証するための手法を学ぶ。
	プロジェクト マネジメント	プロジェクト管理の基礎 (プロジェクト運営管理)	4	●	●	●	プロジェクトの計画立案に必要な基礎的考えと手法(RFP作成、WBS、見積もりなど)を学ぶ。変更マネジメントや調達マネジメントなど、プロジェクトを運営していくための基礎的考えと手法を学ぶ。
		RFP作成と契約管理	2	●	●		RFP作成と契約交渉・管理における実践的なスキルを学ぶ。
IA/アプリケーション	システム基盤要件分析・企画	2	●			非機能要件から、システム基盤の設計手法を学ぶ。	
	Webサイトインターフェイス設計	2	●			ユーザへのインタフェースとなるウェブページのレイアウトやデザインなどの技法について修得する。途上国における携帯電話・スマートフォンの普及を鑑み、モバイルアプリ開発も科目要素とする。	
	CMS機能と適用	3	●			CMSの機能及びCMSを使ったアプリケーションの開発について学ぶ。	
システム管理	システム管理基準策定	2		●		システムの反応時間等の性能を評価する手法や概念(待ち行列理論)等を学ぶ。	
	ICT BCPの策定と運用	2		●		ICT BCPの策定手法と運用方法を学ぶ。	
	Linux基礎	4			●	Linuxの基本的なコマンドの使い方を修得する。	
	Linuxシステム構築	3			●	Linuxやその上で動作するソフトウェアの導入、ファイル管理およびネットワーク設定について修得する。	
セキュリティ	Linuxインターネットサーバ構築	4			●	Linux上で、WWWを含めたインターネットサーバ構築について修得する。	
	情報セキュリティポリシー策定とISMS構築	3		●	●	ISO/IEC27002に沿った情報セキュリティポリシーの策定技法とその運用について修得する。セキュリティポリシーに記述すべき項目について学ぶ。セキュリティポリシーに基づいたセキュリティ管理について学ぶ。	
	ネットワークセキュリティとファイアウォール構築	3			●	ネットワーク上の脅威とこれに対する防御(ネットワーク設計上の留意点)について学ぶ。ファイアウォールの構築手法について修得する。	
	情報セキュリティ監査	3			●	組織や部署内のセキュリティ状況を検分する技法について学ぶ。	
総合演習	不正アクセス対策	3			●	外部からの攻撃に対する対応方法について修得する。	
	情報セキュリティリスク分析	2			●	情報資産保全にかかるリスクを評価する技法について学ぶ。	
	総合演習A	16	●			ユーザー要件に基づき、ウェブベースのシステム設計、開発および評価を行う。開発プロジェクトを管理、運営について学ぶ。	
	総合演習B	15		●		与えられた条件に基づき、EAのうちビジネスアーキテクチャ及びデータアーキテクチャの企画について学ぶ。EA実現に必要な作業体制及び配方法の企画ができる。	
総合演習	総合演習C	10			●	組織の情報資産の現状を基に、情報セキュリティ体制を計画・実行する。	
	アクションプランA	10	●			所属組織の課題解決策を計画立案する。なお本科目は全8~10日で、間に一定の期間をおいて実施する。前期にアクションプランの大枠を定め、後期に詳細(スケジュールやコスト)を詰めていく。内2日間は、研修員のアクションプラン準備・見直し期間に充てる。	
	アクションプランB	10		●			
アクションプランC	8			●			
見学	県内・県外見学	県内(1日)・県外(3日)	4	●	●	●	日本の行政業務改善におけるICT利活用の事例を学ぶ。
科目以外	その他	General Orientation、ブリーフィング、視察等	2	●	●	●	※科目ではない。
		開講式、事前テスト、市表敬等	1	●	●	●	事前テストのみ科目
		閉講式、評価会、事後テスト	1	●	●	●	事後テストのみ科目
		地域の学校などで交流行事	1	●	●	●	※科目ではない。
		JICA内で交流行事	1	●	●	●	※科目ではない。
		科目数	22	23	23		
		全体日数	79	79	79		